

雨をについて力走

北海道新聞

発行所
北海道新聞社

郵便番号 060-8711
札幌市中央区大通西3-6
電話 011(221)2111
© 北海道新聞社 2008

速報

インターネットで道新ニュース
www.hokkaido-np.co.jp

ご購読申し込みは
0120-464-104

道新スポーツ



ピストルの合図で一斉にスタートを切るハーフマラソンのランナーたち。11日午前9時30分、千歳市青葉公園

千歳JAL国際マラソン

第28回千歳JAL国際マラソン(千歳市体育協会、日本航空、北海道新聞社、道新スポーツ主催)が1日、千歳市青葉公園と千歳川近隣の林道、サイクリングロードを使って行われた。参加申込者は43都道府県から昨年大会より411人多い9908人となり、最多記録を更新した。

寒さともせず

参加者 最多の9908人

この日の朝はあいにくの雨模様で気温も低く、午前7時過ぎから青葉公園に集まり始めた参加者は、柔軟体操やジョギングで体を暖め、スタートを待った。競技はフルマラソン、ハーフマラソン、10キ、3キの4コースで、年齢別など26種目。スタート地点では陸上自衛隊第7音楽隊の演奏が行われ、9時半のハーフを皮切りに、3キ、フル、10キの順でスタートした。

今大会の特色は「環境配慮」。フルとハーフの選手先導で、林道部分の大半をトヨタ自動車(愛知県)が開発した燃料電池車「トヨタFCHEV」が受け持った。燃料電池車が走行中に排出するのは水だけで、参加者は森林のさわやかな空気を満喫しながら力走した。

を満喫しながら力走した。

今大会ではまた、団体戦が初めて正式に実施された。フルとハーフそれぞれ4人ないし5人がチームを組み、上位4人の合計タイムで競い合うルール。コースでは、チームメイトが励まし合いながらゴールを目指す姿も見られた。

10キ、3キ、3キファミリーに出場した小中学生や親子連れも、力を振り絞って次々にゴールインした。

大会を支えたのは約1300人のボランティア。フルとハーフでは、コース沿道約5キごとの給水所で、冷水を含ませたスポンジやバナナを用意してランナーたちを激励した。

雨の中、スタートを待つランナーたち



「ここから勝負!」。沿道から声援を送る

深緑の森で



子供と触れ合うラン坊(右)とラン子



必死の形相で雨のゴールを駆け抜けるランナー

2008北海道マラソン 参加申込は 6月6日まで

北海道新聞社

道新ぶんぶんクラブ 会員募集中

20万人突破!

道新ぶんぶんクラブ会員限定 応募締切 6/13 fri

ありがとう 20万人 キャンペーン

道新ぶんぶんクラブ2年目の春、会員数が20万人を超えました! 日頃よりご愛顧いただいている会員の皆さまに、感謝を込めてプレゼント! 抽選で2,040名様に当たる! おめでたい春をお見逃しなく!

- JTB旅行券 20,000円分 (20名様)
- 選べるカタログギフト 20,000円分 (20名様)
- Wチャンス賞: ぶんちゃんクオカード(500円分)を2,000名様にプレゼント!

ご入会はホームページ・携帯電話、道新紙面から!

入会をご希望の方は

対象: 北海道在住の18歳以上の方 (入会費・年会費) 無料

申し込み方法: ●ホームページ・携帯電話サイトから
下記アドレスにアクセスし、案内にそって必要事項を入力してください。
<http://bunbun.hokkaido-np.co.jp/>
●道新紙面から
第2・4日曜日掲載の「道新ぶんぶんクラブガイド」の入会申込書に、必要事項をご記入の上、郵便はがきに張り付けて下記までお申し込みください。

〒060-8771 札幌中央郵便局留
北海道新聞社「道新ぶんぶんクラブ」事務局
TEL 011-210-5261 (平日 9:30~17:30)

詳しくは道新紙面またはホームページで!

バーコード読み取り機能のあるカメラ付き携帯電話をお持ちの方は、右のコードを読み取って表示されたアドレスからアクセスできます。

ご記入いただいた個人情報は会員カード送付、理容などのご連絡に必要となります。また会員の皆さまには、各種の情報提供、アンケート調査やモニターにご協力いただくことがありますので、あらかじめご了承ください。個人情報取り扱いについては、当会員規約と当社の個人情報保護管理規定に基づき厳正かつ適正に管理し、当社が指定する個人情報取扱事業者と適切に取り扱いたします。